

刊夕 日四廿月十

常磐毎日新聞

定価一圓二角五分
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

秋の花壇 (一)

種子取に就いて
 これから十一月にかけては、園藝家の最も多忙な時期であります。

つまり其の一年中に作った草花の整理や、これから越冬させる為めの設備や、また次の年の春に咲かせる早咲の花の植込みなどが、一時に来る時です。園藝家にとつては一番心をくばらなければならぬ時期なのです。

商賈以外の人、單に花好きで花を作る人に勧めたいことは、第一に種を取る事でありませぬ。なせ此の種取りを勧めるかと云へば、一般に花を植える人が、植木屋から美しい花を買ひ求めて来て、その花が咲いてゐるうちは楽しんで眺めてゐますが、それが枯れてしまふと、其のまゝ打ちすて次

一年間に
 東京市だけでも猫の皮約一萬四千枚、犬の皮二萬六千枚が三味線の皮に化けるとは凄じいこと
 の年にはまた新しく買つて植えるといふのが多くありますから、それでは花に對する心づくしがなく、ほ

んどの花を愛する人とは云はれません。
 大切なことは、花を作ると共に、その花を幾年も育てることでありませぬ。今年の花を来年も眺め、また次

明日の立献

- 【朝】緑茶 リンゴ
- 【昼】蒲やき 穴子
- 【晩】ほうろくむし 海老 さんなん 松茸 抽子 さわ煮 小鯛

の年にも育て、咲かすうちに、花に對する眞實と親しみと、愛とが生じて來るのです。ですから種取りといふことを先づお勧めしたいのです。
 普通の、なんでもない花
 向葵、矢車草などといふ風のもの、種ならば、普通にとつて普通に播けばよいのですが、花にとつては、なか／＼むずかしいものがあります。松葉牡丹などは、素人の手で取つた種は發芽しにくいものです。これは種子に脂肪が附着することなどが原因するので、前年の経験で發芽しない様な種子であつたなら、専門の人に取つてもらふ方が安全です。しかし普通の強い植物な



和歌

自由にとつて大丈夫ですこの種子の取り方は、種のはし加減があつて、あまり實が入り過ぎて、はじけるやうになつてから取るよりも、少々生々しい時に取つておく方がよろしい。それから紙の袋に入れて、花の名を書き込み、釣り下げておきます。

平夢 青閣
 つかれたる眸にうつる白雲は蒼きみそらを流れて行くも
 タやみに仄かにゆらぐコスモスをみつめてあればなせか悲しき
 冬枯れて寂しくなりぬ土堤の上幼き夢をさがすべなし
 かた時はるかか空をみつめつる友のしぐさをよしと思へり
 朝まだき青く澄みたる高空にあはき弓月の寒くのこれり
 讚美歌を歌へば歌ふ我が聲に悲しみありて涙落ち來ぬ
 亡き母と語り合ひぬと見し夢はしばしなれども嬉しかりけり

内科 一般

金成醫院

金成 忠義
 平鎌田町(電三五八)

御扱い開始

旭屋一六銀行

通三丁目 電四二五

新築 落成移轉

永らく御不自由相掛け申し上げて居りましたが此度漸く落成移轉致しました。何卒倍舊の御引立の程御願申上げます。尙新舖二階の客間は御會食御家族同伴等江戸前式に設備致しました何卒御利用下さい。

平三(舊店舗跡)
 玉壽司
 電五七五番

紅葉狩には! ぜひ錦水の

折詰辨當を御供させて下さい
 多少に不拘出前迅速
 仕出し
 専門 錦水
 電四五四

電話 79 番

貸切

是非 迅速親切 御客様本位の...
 平三丁目警察署通り
 平タクシーへ
 ▲長距離は特に御相談に應じます。

夜 間 診 療

胃腸病科 皮膚科
 花柳病科 性病科
 内科 専門

松村村松 性病科 胃腸病科
 院醫科 (番七〇一電町南町平)

味覺の秋!!

仙の干やなぎ

賣初めました
 其他鯉節、鯉鹽辛、いか鹽辛
 平町土橋
 仙 鈴藏魚店
 電話六六一番

中等 教員野球大會

一、日時 十一月三日(明治節)午前十時半
 一、場所 縣立磐城高等女學校々庭
 一、参加 磐中 磐女 平商 各校教職員
 一、方法 優勝旗争覇軟式リーグ戦

主催 常磐毎日新聞社
 後援 磐陽 野球聯盟
 同 平町軟式野球協會

貧困兒童に

バリカン奉仕

奇特な床屋さん

第三校生徒に親しまる

平町南町直龍軒理髮店主吉田直三郎さんは平町の江東地帯第三小學校の兒童達が貧困の爲め頭髮も蓬々と延び放題にして頗る非衛生的なものが多數あるのに同情して毎週一回同校に出張無料で散髪奉仕を行ひ兒童達から親しまれ毎週の奉仕を待ちかねられるやうになつたのを喜んだ同氏は兒童用

調髪用具一式を同校に常備したがけふも午前七時といふのにお弟子さんを連れて登校した同氏は授業前に十九名の頭を刈つて「ア、さつぱりした」と我が事のやうに喜びつゝ歸つて行つた

本月中旬に既に四十名近くの散髪を行ひ父兄、學校から非常に感謝されてゐる

千四百餘名の

兒童が歌ふ

郡下の唱歌會

既報来る二十七日午前十時より平第二小學校講堂に於て開催される郡下小學校兒童唱歌會の出演校は平町の

三小學校を始め
 内郷尋高 同第一 第二
 第三 四倉 飯野 大野
 尋高 湯本尋高 大浦

神谷 勿來尋高 赤井第一 小川 草野 錦 種田 平窪 小名濱 豊間 好間尋高 湯本尋常の二十四校

千四百餘名で盛會を豫想されてゐるが平町第一、第二、第三各小學校のプログラムは左の如くである

▼第一校(一年)唱遊「日本幼兒の歌」飯野宏外二九名(二年)同「よいよい子」千葉文彦外二九名(三年)齊唱「カナリヤ」根本孝三郎外二三名(六年)獨唱「秋の山」木田菊壽同「鐘をおさめて」安藤破魔夫 高「齊唱」日出づる國「田中忠太郎外二九名(高)合唱「進め我が艦」中島正喜外二九名
 ▼第二校(一年)唱遊「つみ木」渡邊久子外二九名(二年)同「こたけ」草野トシ子外二九名(三年)同「風」吉成照子外二九名(四年)齊唱「牧場の朝」長瀬民喜美外二九名(六年)同「森の歌」根本ソネ子外

彫刻界の變り種

平澤君また入選

平町古鍛冶町出身東京市板橋區板橋町平澤信勇氏は今秋帝展に彫刻「碧珠」を出品見事入選した

同君は現在東京新宿驛車掌勤務で彫刻界の變種であるが四回入選といふ帝展の常連年齢僅か三十才益々將來を囑望されてゐる

協賛會

役員

昨日推薦

就任方交渉
 「昨報」明春の「國防と滿蒙博覽會」準備の第二次委員會は昨日午後一時から平町

教育部會

秋季總會

来る四日に
 石城教育部會秋季總會は来る十一月四日午前九時より平第一小學校講堂に開催すると

高麗を橋検査 平土木委員會は二十七日午後一時から招集、高麗橋竣功調査のため實地踏査する

隣縣の

教員之競技
 茨城縣の多賀郡教員團から本郡下教員競技團に陸上の對抗競技を申込んで来たので本郡では郡下教員の競技団体である磐陽俱樂部が主体となり大体來月中旬頃磐中グラウンドに競技會を開く

平署捕賊表彰 平署左記巡査は捕賊功勞により二十三日付を以て畑山知事から金一封を添えて表彰された

菅家徳壽(窃盜犯鈴木伊助)吉田三郎 兒島鶴吉 大谷次男(以上窃盜犯崎村正太郎協同逮捕)

提出議案協議 石城教育部會は来る十一月十一日相馬郡中村第二小學校に於ける濱三郡聯合教育會

臨時出納検査 平町臨時出納検査は来る三十日午前十時から町役場會議室で執行

電話設計對立 既報平郵便局では市外電話線の着手箇所として豫てより平高久間の設計を測量中であつたが綴局でも明年度工事として同局白水間の工事を設計殆んど同時に仙臺通信局に申請したので自然對立的となり何れが先に實施されるか兩局員に氣を揉して居る

消防組頭協議 平署管内消防組頭委員會は今二十四日午前十時から平署會議室で開き秋季聯合檢閱期日大日本消防協會負擔金賦課査定その他數件を協議した

鐵道野球大會 平鐵道俱樂部野球部は来る二十八日平商第一兩球場で秋季大會を開催すると

植田方部成績品展 石城郡第一區(植田方部)小學校兒童成績品展覽會は来る十一月二十二日から三日間入遠野小學校で開催する由

平職案紹介所報告
 回人を求める方
 △印刷職工 廿五以下 尋卒 給料面談
 △出前持 廿前後 尋卒

總集會の提出議案協議の爲め来る二十九日午前十時より平第一小學校に評議員會を開くと

臨時出納検査 平町臨時出納検査は来る三十日午前十時から町役場會議室で執行

電話設計對立 既報平郵便局では市外電話線の着手箇所として豫てより平高久間の設計を測量中であつたが綴局でも明年度工事として同局白水間の工事を設計殆んど同時に仙臺通信局に申請したので自然對立的となり何れが先に實施されるか兩局員に氣を揉して居る

消防組頭協議 平署管内消防組頭委員會は今二十四日午前十時から平署會議室で開き秋季聯合檢閱期日大日本消防協會負擔金賦課査定その他數件を協議した

鐵道野球大會 平鐵道俱樂部野球部は来る二十八日平商第一兩球場で秋季大會を開催すると

植田方部成績品展 石城郡第一區(植田方部)小學校兒童成績品展覽會は来る十一月二十二日から三日間入遠野小學校で開催する由

平職案紹介所報告
 回人を求める方
 △印刷職工 廿五以下 尋卒 給料面談
 △出前持 廿前後 尋卒

提出議案協議 石城教育部會は来る十一月十一日相馬郡中村第二小學校に於ける濱三郡聯合教育會

臨時出納検査 平町臨時出納検査は来る三十日午前十時から町役場會議室で執行

電話設計對立 既報平郵便局では市外電話線の着手箇所として豫てより平高久間の設計を測量中であつたが綴局でも明年度工事として同局白水間の工事を設計殆んど同時に仙臺通信局に申請したので自然對立的となり何れが先に實施されるか兩局員に氣を揉して居る

月七圓位
 △料理人 四十以下 尋卒 給料面談
 △雜役 二十五才 尋卒 給料面談
 回職を求める方
 △探炭夫 卅八才 尋四修 給料面談
 △電工見習 十八才 中三 修 給料面談
 △雜役婦 卅九才 委細面談
 △土工夫 四十五才 高卒 給料面談
 △小店員 二十才 尋卒 給料面談

市原醫院

平町 田町
 電話一四四番

書道用半紙

厚口………帖八錢
 薄口………帖五錢

畫仙紙

白唐紙
 二双紙
 色紙。短冊。畫帖。

マルトモ

柴田書店
 平町四丁目
 電話一二三四番
 一二三四番

御障子紙

一本(四枚張)金廿五錢
 是非御用命をお待ち申して居ります

逃走中の拐帯犯が 東京で強盗を働く

群衆に追ひ詰められて 逃げ場を失ひ縛らる

福助足袋の外交員

〔既報〕仙臺市福助足袋賣店から集金三百圓を拐帯逃走した同店外交員永戸村字合戸農合津益次郎四男益行(三)の行方につき平署では賣店よりの依頼により各方面に手配捜索中であつたが

たので強盗は一物を得ず飛び出し圓タクを呼びとめて乗せんとしたが駆けつけた附近民

十數名が右圓タクをとりまいたので運轉車が車を拒絶したため矢庭に疾風の如く逃走したが結局二丁先の南櫻公園に追ひ詰められ大格闘の末に逮捕された此の強盗が前記益行である事判明した

取調べの結果去る十七日夜同町内のあさ屋質店方にも侵入短刀で脅迫店先の金庫から現金六十一圓を強奪逃走したことを自白した由

〔既報〕福助足袋賣店から集金三百圓を拐帯逃走した同店外交員永戸村字合戸農合津益次郎四男益行(三)の行方につき平署では賣店よりの依頼により各方面に手配捜索中であつたが

たので強盗は一物を得ず飛び出し圓タクを呼びとめて乗せんとしたが駆けつけた附近民

十數名が右圓タクをとりまいたので運轉車が車を拒絶したため矢庭に疾風の如く逃走したが結局二丁先の南櫻公園に追ひ詰められ大格闘の末に逮捕された此の強盗が前記益行である事判明した

取調べの結果去る十七日夜同町内のあさ屋質店方にも侵入短刀で脅迫店先の金庫から現金六十一圓を強奪逃走したことを自白した由

〔既報〕福助足袋賣店から集金三百圓を拐帯逃走した同店外交員永戸村字合戸農合津益次郎四男益行(三)の行方につき平署では賣店よりの依頼により各方面に手配捜索中であつたが

たので強盗は一物を得ず飛び出し圓タクを呼びとめて乗せんとしたが駆けつけた附近民

十數名が右圓タクをとりまいたので運轉車が車を拒絶したため矢庭に疾風の如く逃走したが結局二丁先の南櫻公園に追ひ詰められ大格闘の末に逮捕された此の強盗が前記益行である事判明した

取調べの結果去る十七日夜同町内のあさ屋質店方にも侵入短刀で脅迫店先の金庫から現金六十一圓を強奪逃走したことを自白した由

〔既報〕福助足袋賣店から集金三百圓を拐帯逃走した同店外交員永戸村字合戸農合津益次郎四男益行(三)の行方につき平署では賣店よりの依頼により各方面に手配捜索中であつたが

たので強盗は一物を得ず飛び出し圓タクを呼びとめて乗せんとしたが駆けつけた附近民

十數名が右圓タクをとりまいたので運轉車が車を拒絶したため矢庭に疾風の如く逃走したが結局二丁先の南櫻公園に追ひ詰められ大格闘の末に逮捕された此の強盗が前記益行である事判明した

取調べの結果去る十七日夜同町内のあさ屋質店方にも侵入短刀で脅迫店先の金庫から現金六十一圓を強奪逃走したことを自白した由

〔既報〕福助足袋賣店から集金三百圓を拐帯逃走した同店外交員永戸村字合戸農合津益次郎四男益行(三)の行方につき平署では賣店よりの依頼により各方面に手配捜索中であつたが

たので強盗は一物を得ず飛び出し圓タクを呼びとめて乗せんとしたが駆けつけた附近民

十數名が右圓タクをとりまいたので運轉車が車を拒絶したため矢庭に疾風の如く逃走したが結局二丁先の南櫻公園に追ひ詰められ大格闘の末に逮捕された此の強盗が前記益行である事判明した

取調べの結果去る十七日夜同町内のあさ屋質店方にも侵入短刀で脅迫店先の金庫から現金六十一圓を強奪逃走したことを自白した由

〔既報〕福助足袋賣店から集金三百圓を拐帯逃走した同店外交員永戸村字合戸農合津益次郎四男益行(三)の行方につき平署では賣店よりの依頼により各方面に手配捜索中であつたが

たので強盗は一物を得ず飛び出し圓タクを呼びとめて乗せんとしたが駆けつけた附近民

十數名が右圓タクをとりまいたので運轉車が車を拒絶したため矢庭に疾風の如く逃走したが結局二丁先の南櫻公園に追ひ詰められ大格闘の末に逮捕された此の強盗が前記益行である事判明した

取調べの結果去る十七日夜同町内のあさ屋質店方にも侵入短刀で脅迫店先の金庫から現金六十一圓を強奪逃走したことを自白した由

轢死體を 巡り一悶着

鎌田墜道から 片足が平町へ

身元不明のルンペン男

昨二十三日午後六時十六分平驛着上り貨物列車が神谷村鎌田トンネル出口に差しかけた際年輪五十才前後ルンペン風体の男が胴体を

真二つに轢断死を遂げたが身許不明、自殺か過失か平署で調査中であるが轢断された片足が夏井川鐵橋を越えて平町地内線路に横は

拒絶され止むなく少年を連れ二十一日夜附近の山林中で野宿したが翌朝少年が眼をさまして見ると周旋人は何處へか姿を晦して

往復六十錢に割引平驛では水戸運輸事務所と連絡をとり平地方觀楓客の爲め来月四日川前觀楓團體の臨時列車を運轉する事になつたが平驛を午前九時に

既報平郵便局が伴に拂戻した千五百圓の貯金は自分に

たが此程遂に死亡した

野宿した儘 少年捨てらる

少年捨てらる

蕪安の生んだ哀話

蕪安の打撃を受けた農村哀話がある。赤井村中島勇治は二年前妻に死別し長男勇(三)と二人の他しい暮しを續けて来たが最近勤め先の製糸工場が不況の爲め賃銀未拂のため切羽詰つて去る十四日可愛い一人息子の勇を阿部某といふ見知りぬ周旋人の手に渡して世話を頼んだところ同人は静岡縣濱松市在鷲津町藤井製糸工場へ賣付けやうとしたが工場法の規定年齢に達してゐるので

あるので途方に暮れた少年は同日附近を道迷ひ歩かう午後八時頃濱松署員に保護検査された、同署ではこの哀れな物語りを聞いて大いに同情、平署へ身元を照會するとともに阿部某の行方捜索中であるが同人は野宿する時おれは無鑑札周旋人だから警察が恐いので野宿するのだと少年に語つたことである

長橋町青年分團にて分團長橋町青年分團にて分團

無斷家出の妻 相馬郡上真野村大字小原村農但野清三郎内縁の妻宅谷ハル(三)は去る十七日午後一時頃無斷家出、行方不明となつたが前身が酌婦であつたが前夫は平地方の料理屋に住込んでゐるのでないかと二十四日夫から平署へ搜索願

觀楓列車

來月四日に 往復六十錢に割引

平驛では水戸運輸事務所と連絡をとり平地方觀楓客の爲め来月四日川前觀楓團體の臨時列車を運轉する事になつたが平驛を午前九時に

既報平郵便局が伴に拂戻した千五百圓の貯金は自分に

たが此程遂に死亡した

たが此程遂に死亡した

登樓しては 手當り次第に 飲代を盗廻る

飲代を盗廻る

當時住所不定東白川郡竹貫村大字仙石字照内生れ無職薄井右八(三)は去月二十五日内郷村大字宮字金坂今泉留八方から羽織及び奉公袋を窃取、翌日午後八時頃盗んだ羽織を着用し湯本町料理屋山崎よね方に登樓二圓

無斷家出の妻 相馬郡上真野村大字小原村農但野清三郎内縁の妻宅谷ハル(三)は去る十七日午後一時頃無斷家出、行方不明となつたが前身が酌婦であつたが前夫は平地方の料理屋に住込んでゐるのでないかと二十四日夫から平署へ搜索願

今度は反對に 「逓信省の勝ち」

又カ喜びの久吉爺さん

既報平郵便局が伴に拂戻した千五百圓の貯金は自分に

たが此程遂に死亡した

たが此程遂に死亡した

明日のラジオ

廿五日

天気

今晩は北東の風雨模様明日は北西の風天気良し

明日の部

後八〇〇 東海道演藝道中(第九夜) 解説 徳川 夢聲
後九〇〇 長唄 稀音家六花外大勢
後九三〇 時報ニュース 氣象通報 番組豫告

明日の部

前六三〇 基礎獨語講座
後八三〇 寄席中繼(東京四谷喜よしより中繼)
後八〇〇 ビアノ伴奏 小倉 末
後八三〇 寄席中繼(東京四谷喜よしより中繼)

今晩の部

後六〇〇 (子供の時間) 獨唱 納所 米子
ビテノ伴奏 納所 米子
後六二五 基礎英語講座 岡倉由三郎
後七三〇 講演一農村の工業化 工學博士子爵 大河内正敏

明日の部

前六三〇 基礎獨語講座
後八三〇 寄席中繼(東京四谷喜よしより中繼)
後八〇〇 ビアノ伴奏 小倉 末
後八三〇 寄席中繼(東京四谷喜よしより中繼)

明日の部

前六三〇 基礎獨語講座
後八三〇 寄席中繼(東京四谷喜よしより中繼)
後八〇〇 ビアノ伴奏 小倉 末
後八三〇 寄席中繼(東京四谷喜よしより中繼)

明日の部

前六三〇 基礎獨語講座
後八三〇 寄席中繼(東京四谷喜よしより中繼)
後八〇〇 ビアノ伴奏 小倉 末
後八三〇 寄席中繼(東京四谷喜よしより中繼)

明日の部

前六三〇 基礎獨語講座
後八三〇 寄席中繼(東京四谷喜よしより中繼)
後八〇〇 ビアノ伴奏 小倉 末
後八三〇 寄席中繼(東京四谷喜よしより中繼)

明日の部

前六三〇 基礎獨語講座
後八三〇 寄席中繼(東京四谷喜よしより中繼)
後八〇〇 ビアノ伴奏 小倉 末
後八三〇 寄席中繼(東京四谷喜よしより中繼)

明日の部

前六三〇 基礎獨語講座
後八三〇 寄席中繼(東京四谷喜よしより中繼)
後八〇〇 ビアノ伴奏 小倉 末
後八三〇 寄席中繼(東京四谷喜よしより中繼)

明日の部

前六三〇 基礎獨語講座
後八三〇 寄席中繼(東京四谷喜よしより中繼)
後八〇〇 ビアノ伴奏 小倉 末
後八三〇 寄席中繼(東京四谷喜よしより中繼)

浄名の比叟

遷新立音頭

（藤岡敏上原及上原）

田邊南龍（作）
山本英春（監）

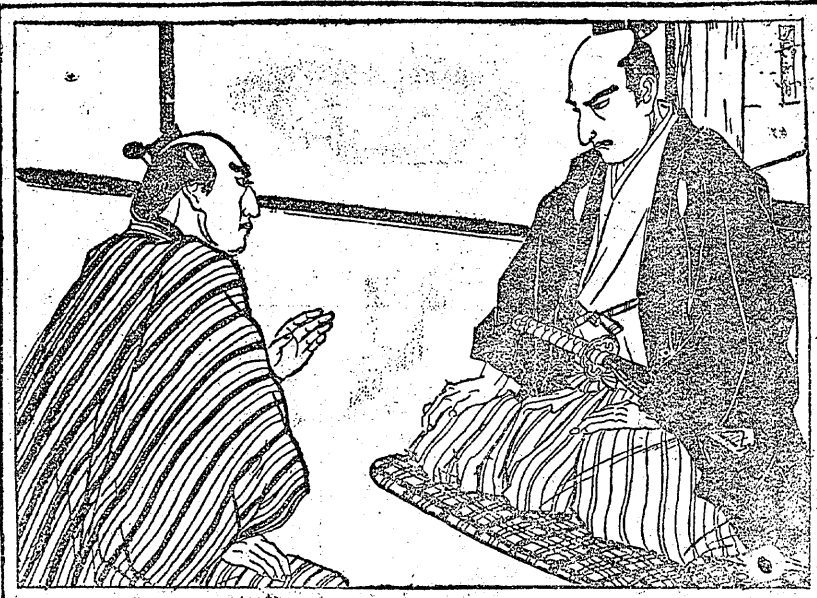
……一六六……

覺悟の上で暇乞

長兵衛元締は支度を直し
自慢の貞宗を一本脇差を帯
したまへ出て往つたのが丸
の内本多の屋敷、何かに付
けて盡力致して呉れました
のが本多の家來櫻井庄右衛
門。もう此の方は病死をい
たされたが、前名庄太
郎と云つた御子息、今では
父の名前を繼いで庄右衛門
年は若い誠に行き届いた
お人

「オウ長兵衛、よく見えた
……」
「誠に御無沙汰致して申譯
がございませぬ、之はつま
りませぬ物ですがホンの手
土産でございませぬ」
「イヤ様々の物に預かつて
忝ない」
「お禮では恐れ入ります、
付きましては旦那様にお願
ひがございませぬ、内々申上
げたく存じます……」
「ア、左様か、コレ、密談
であるから参つてはならぬ
……」

御新造や女中を遠ざけた
上
「何だ長兵衛」
「外の事ではございませぬ
が、御暇乞ひに出ました」
「暇乞ひに参つた、何か
旅行か」



「イエ今度は些と遠方へ参
りますから所詮再びお目通
りは出来ませぬ」
「ア、九州へでも行くかな
……」
「イ、九州ではございま
せん、方角はやはり西でござ
いませぬがモット先へ参り
ます」

は云々斯々と云ふ譯で……
と今日までの物語りを致
しました。
「何分にも若い者の統制が
つきませぬ、何うしても水
野の屋敷へ斬り込んで十郎
左衛門の首を取るの、旗本
衆の屋敷へ斬り込むと申し
て気が立つて居りますから
今止せと云つても、ハイ止
ませうと云つて引きさう
もない、若い者が五十人
も三十人でも旗本の屋敷へ
斬り込みでもしやうものな
ら、今漸うの事で天下泰平
に治まつたと云ふ計り、動

兵衛が落命をいたしますれ
ば何事も波風なく収まるに
相違ございませぬから、明
日は水野のお屋敷へ出まし
て尋常に殿様のお手に掛つ
て落命いたします覺悟でござ
いませぬ、然し若い者には
さうは云はれず死装束を拵
へて明後日の晩は俺が先立
ちで斬り込むからと、漸う
嘘を吐いて一同をなだめ御
當家様へ出ましたのは、御
先代様よりの一方ならぬ御
厚情、此のまゝお別れ申し
ては濟みませぬ故お暇乞も
に参りました、御前様には
どうぞ是迄の縁と思召し下
さいませぬ様
と流石に泊を湛えて申し
述べます、膝へ手を置いて
聞いてお出でになりましたし
た櫻井庄右衛門
「長兵衛、若氣の誤りとは
云ひながら拙者が新吉原に
通ひし其時に、法華長兵衛
と申す者の爲めに既に一命
許りか櫻井の家を失はうと
致した、それを其方が義侠
によつて助けて呉れた」

「フーウ、方角は西でモツ
ト先……」
「十萬億土と申しますが、
冥土の道に参ります」
「ナニ冥土へ参る」
「左様でございませぬ、其

もすれば血腥い風の吹きま
す時分甚だ以て穩かならぬ
事多寡の知れたる町奴塚本
長兵衛一人の事で天下のお
旗本がそれほど迄に御立腹
とあれば、根を刈つて棄を
枯らすたとへの通り、此長

小学生用（長ズボン付）

A.....90.00

B.....1.10.00

特製品.....2.35.00

中学生用

特製6號.....3.50.00

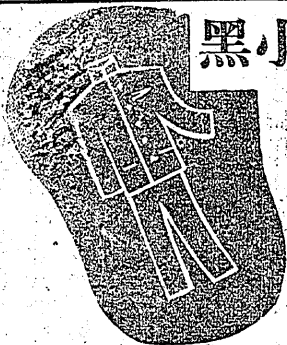
御注文（特上）...6.30.00

ふかや洋服店 平 三
電 203

黒小倉通學服賣出

一望秋色

さあ御召替です
かかやには皆様の御満
足の得る品が何時も澤
山揃へて御座います



石炭
コークス
玉炭

平 驛 前



阿部石炭商店

電話三七番

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
内科小兒科 平町田町 電話五二三番
耳鼻咽喉科 外科花柳病科
レントゲン科

磐城セメント會社特約店

久松屋商店

磐城平町五丁目 電話九番九九番
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は 〆 の生命なり

季節松茸・鳥料理

よ せ な べ
う な ぎ
魚 榮

配達 迅速
平町田町 電話四二四番

外科

門 專 線 光 X
科

上田外科醫院

平町南町
電話二二九番